

令和2年度FD実施計画書

学部・学科	キャリア開発学科
<p>FD取り組みへの理念・目標</p> <p>【理念】キャリア開発学科の3ポリシーおよび第7次中期総合計画に基づき、教育目標に掲げる人材を育成するための学修支援と、それを可能にするための教員の教育と研究の質的向上を目指してFDに組織的に取り組む。</p> <p>【目標】上記理念に基づき、学内（FDセンター、他学部・他学科、事務局）および学外（企業、高等学校、大学など）との有機的な関連・連携を深めることによりFDの一層の推進・強化を図り、「教育課程・教育目標・目標内容の検証」「教育方法の改善・学修成果の可視化」「公開授業」などに学科をあげて取り組む。</p>	
回数、期間、実施日等	実施事項・内容、実施組織、評価項目等
	<p>1. 教育ワークショップの実施</p> <p>学科主任、FDセンター委員、教育ワークショップ委員が企画・立案、運営を行う。結果を学科のFDの推進、入試の志願者対策、就職対策などに役立てる。本年度は9回開催し、第6回を除き、基本的に学科会議の前に実施する。</p> <p>第1回 4月2日 テーマ「入試結果の報告と令和3年度学生募集について」（入試広報部 塚田昭人 部長）</p> <p>第2回 5月7日 テーマ「令和元年度内定者最終報告及び今年度計画について」 (連携推進部 大川貴光 部長、岡本健人 係長、横倉紗希 課員)</p> <p>第3回 6月4日 テーマ「教育支援にかかわる学生対応の現状と課題」（学生相談室カウンセラー）</p> <p>第4回 7月2日 テーマ「令和3年度の学生募集について」（入試広報部 塚田昭人 部長）</p> <p>第5回 8月6日 テーマ「編入先候補大学における求める人材及び編入試験対策について」 (下関市立大学からの講師)</p> <p>第6回 8月～9月 テーマ「科研費獲得へ向けての申請書作成について」（科研アドバイザー）</p> <p>第7回 9月3日 テーマ「令和2年度8月までの就職状況について」 (連携推進部 大川貴光 部長、岡本健人 係長、横倉紗希 課員)</p> <p>第8回 12月1日 テーマ「令和2年度11月までの就職状況について」 (連携推進部 大川貴光 部長、岡本健人 係長、横倉紗希 課員)</p> <p>第9回 3月3日 テーマ「令和3年度教育ワークショップ計画」（本学科教育ワークショップ委員）</p> <p>2. 学科FD研修会の実施</p> <p>全学的な「学生による授業アンケート」結果と教員による授業参観レポート、本学科での随時授業公開の参観レポート、および本学科実施の「授業等に関するアンケート」結果を学科内でオープンにした授業改善のためのFD研修会を実施する。</p> <p>学科主任とFDセンター委員が運営する。学生による授業評価を受けて、授業改善をどのように実施し、授業評価がどのように変化したのか、さらに、今後、どのような授業改善を計画しているか、などを見る。基本的に、改善のために数値目標をあげ、それ</p>

	<p>を次回の研修会の評価の指針とする。</p> <p>また、本年度も専任教員による中間の授業アンケートを実施してその結果を FD 研修会で報告する一方、本アンケートの有効性について検証する。</p>
第 1 回 8 月 6 日	<p>テーマ「令和元年度後学期の結果による授業改善の結果と今後の計画」</p>
第 2 回 3 月 3 日	<p>テーマ「令和 2 年度前学期の結果による授業改善の結果と今後の計画」</p>
<p>4 月～3 月、月 1 回（原則学科会議終了後とするが、学事日程などに合わせて適宜日程調整をする）開催予定</p>	<p>3. プロジェクト研究会の実施</p> <p>令和 2 年度の本学科のプロジェクト研究課題は、令和元年度に引き続き「地域と連携した教育プログラムの開発－インターンシップとフィールドワーク」である。本プロジェクトでは、現行カリキュラムの「フィールドワーク分野」の「インターンシップⅡ」（2 単位）と「フィールドワークⅠ・Ⅱ」（各 1 単位）の単位付与を前提に、地域（企業、行政、NPO 法人、ボランティア団体など）と連携して、本学科の高次のアクティブラーニングとしてふさわしい「インターンシップ」「フィールドワーク」のプログラムを開発することを目的とし研究を進めている。本学科の FD の推進とも密接に関連していることから、プロジェクト研究会は 8 月を除き月例開催して、情報共有や進捗チェックを行い、研究に遅滞がないようにする。</p> <p>4. 教育課程・教育目標・教育内容の検証</p> <p>3 つのポリシーを踏まえた教育カリキュラムの検証を学科主任、FD センター委員、教務委員が中心となり行う。また、令和元年度から編入対策に力を入れることになったことも踏まえて、カリキュラムの改定作業を行う予定である。</p> <p>5. 教育方法の改善・学修成果の可視化に向けた取組みの実施</p> <p>5-1 科目のルーブリック及びレポートや発表の課題ルーブリックの見直しを行う一方、ルーブリックに対する学生の理解を深めるとともに、更なる活用を図る。また、ルーブリックの活用を促進するために、平成 30 年度後学期に一部必修科目で導入した Excel マクロシートを利用した評価シートの一層の活用を図り、必要に応じて新規シートの開発も行う。また、総合評価のみではなく、ルーブリックの各評価項目の評価結果も学生にフィードバックできる方法を検討していく。</p> <p>5-2 N-note 及び UNIPA の積極的活用を図るため、コンピューター関係の科目を除く必修科目では N-note の携帯を義務化する。それにより、UNIPA を活用した出欠管理、資料配布、課題提出、小テスト、アンケートの実施、クリッカーを使用した双方向授業などを行う一方、学生の就職活動の支援などきめ細かな学生支援にも役立てる。</p> <p>6. 公開授業を通じた授業改善の推進</p>
<p>5 月 28 日 ～6 月 24 日</p>	<p>6-1 FD センターの「令和 2 年度公開授業（授業参観）実施要領」に基づき、積極的に授業公開、授業参観及び参観レポートの提出に取り組む。教育の内部質保証の一環として公開授業を積極的に活用し、学科内の授業改善はもとより他学部他学科の授業</p>

原則随時	<p>改善にも資する。</p> <p>6-2 本学科の通年授業公開を、学生の保護者などを対象に、原則事前の参観予約なしで実施する。実施の告知は、保護者に配布する案内文書などにより行う。授業参観者には参観レポートを提出していただき、前述の学科 FD 研修会での資料としても活用する。</p>
2月または3月	<p>7. 福岡工業大学短期大学部と連携した合同 FD 研修会の実施</p> <p>本学と福岡工業大学短期大学部との連携協定に基づく合同 FD 研修会に、本学科の全教員をあげて積極的に参加をする。それにより、更なる FD の推進に取り組む。</p> <p>なお、令和元年度の研修が新型コロナウイルスの感染拡大の影響で中止となったことから、可能であれば9月までに予定していたテーマ「短期大学の内部質保証に向けて」で実施する方向で福岡工業大学短期大学部と協議する予定である。</p>